

業界から一言

製造業

食料品製造／菓子関連は、材料・資材の高騰に加え、問屋の再編による運賃・諸経費の負担増が収益を圧迫。水産物加工は、ここ数ヶ月同様、原料の高騰が収益を圧迫。

繊維・同製品／織物は、袖裏地・服地の発注があるが、ロット数が少ない。低温、多雨のため、日傘・雨傘とも売れ行きが悪い。

木材木製品／木材は、外材が値上がりしており、徐々にではあるが国産材へのシフトの動きが出ている。

印刷／売上は一進一退であり、あまり良くない。

窯業土石製品／生コンクリートの出荷量は、公共物件・民需とも減少し、売上高は前月に続き前年比減少。砂利販売は、採取許可が下り、原石の確保

ができ、売上高が上昇したが、土木建設工事が減少しているため、企業倒産が懸念。

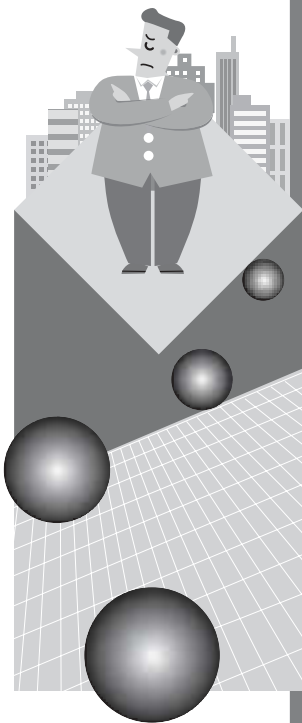
鉄鋼機械金属／

機械製造は、全体的に好調に推移しているが、国外流出が続いている業種の末端企業は依然として厳しい。鍍金は、金属材料及び燃料の高騰が収益を圧迫。

宝飾品／宝飾品は、金・プラチナ地金価格の高騰により、依然として厳しい状況である。

非製造業

小売業／水産物は、価格上昇傾向にある中、大型店との競争により売上が減少。食肉小売は、牛肉相場等の高騰が収益を圧迫。家電は、デジタル機器が好調であり、ワールドカップ、地デジ景気に期待



山梨県中小企業団体中央会
情報連絡員報告
(平成18年5月分)

景況情報

調査対象の50業界のDI値は、製造業は「業界の景況」がやや悪化したが、4ヶ月連続して「売上高」がプラス値を示しており、持ち直しの動きが続いている。非製造業においても「業界の景況」がやや悪化したが、「売上高」が大幅に回復しており、全体的な回復の動きが本格化しつつある。

企業間格差があらゆる業種で拡大している。特に、原材料の高騰、燃料の高騰等の影響を受けている業界、公共事業の削減の影響を受けている業界においては、倒産・廃業などのおそれが出てきており、倒産の連鎖が懸念される。

燃料販売は、5月は5円程度の値上げを行ったが、転嫁不足により、収益が悪化。自動車販売は、販売台数が減少した。

サービス業／ホテル・旅館は、地域間・企業間による格差が見られる。ゴルフデンウイ

ク中がよかつた地域と明けから良かった地域がある。自動車整備は、車種が小型化し、売上高が減少。資金回収サイトが長期化し、資金繰りが

悪化している企業が見られる。

建設業／建設業は、公共事業増大が見込めないため、資金繰りの悪化による倒産が懸念。鉄構工事は、小規模の店舗や工場の動きが出てきて稼働率が上昇したが、鋼材価格の高騰により資金繰りが厳しい。管工事は、公共事業・個人住宅宅内工事の減少により、経営が厳しい。型枠工事は、マンションや小規模ビルなどの物件はあるが、安値競争による採算割れで、倒産や廃業が懸念される。

運輸業／タクシー業界は、ゴルフデンウイークは売上増であったが、それ以降は低迷。燃料費の高騰がますます経営を圧迫。

